

# まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 8 年 5 月 18 日(月) 18:30～20:00

場 所： 総合福祉センター

出席者： 13 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談
  - (1) 3 期目の政策について
    - ・ 資料①、資料②参照
  - (2) 関係機関・団体からの事前質問に対する回答
    - ・ 資料③
  - (3) 自由
4. その他
5. 閉 会

## 【自由懇談・そのほかの質疑など】

### ■ネイチャーポジティブについて

町 民 自然を回復軌道に乗せ、生物多様性を反転させるということだが、具体的にどんなことなのか。例えば、農地の基盤整備が進められるが、多様性の損失というふうな見方もできる。その中で、ネイチャーポジティブというものを、どういうイメージで受け取ったらいいのか、具体的にどんなことなのかということの説明いただきたい。

町 長 自然環境の保全・再生に関わってきた町内 4 つの団体から町に提言があり、ネイチャーポジティブを推進していく宣言をした。昭和 60 年、御大師山で国蝶オオムラサキが発見されて以来、ハサンベツ里山計画実行委員会の皆さんが中心となって、里山の保全環境のためいろいろな取り組みが進められてきた。栗山町は自然豊かな自然環境だということでは十分認識をしており、この環境を未来永劫、子どもたちに残していきたい。全地球の陸地、そして海域、海の 30% ずつを自然環境の保全区域にしていこうというのが国際目標になっており、官・民挙げて栗山町も担っていきたい。

環境生活課長 昭和 60 年にオオムラサキが発見されて以来、町民の方々と行政が一体となって様々な取り組みを進めてきた。そういう環境が今も残っていて、子どもたちが、いろいろな活動をしている。取り組みをなぜ町の施策にしてやるとかということについては、今まで、ボランティアとして住民の方にご参加いただき、行政も一緒になってやってきたが、活動する方の高齢化や担い手が不足していく状況の中で、後世の子どもたちに今の環境を残していくためには何ができるのかを考えていくということ、ネイチャーポジティブ宣言を通して取り組んでいきたい。サーターバイサーティーという 2030 年までに陸と海の 30% 以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標の数字の中に、ハサンベツ里山なりの面積をそこに加えていって、国の政策、あるいは世界の政策に貢献していこう、そのことで多くの方が栗山に来てもらえるかもしれない。町民がそのことを通し

て、改めて自然に対してもう一度意識を持ってもらえるよう取り組んでいきたい。具体的に何かという部分については、これまでやってきたことを継続することや、若い方々を中心に組織を作って、改めていろいろな若い感覚、あるいは今まで経験してきたことを基にした活動ができるかもしれないと考えているので協力をお願いしたい。

町 民 ハサンベツの会が解散されたということで、今までやってきた大きな流れが一つの区切りを迎えた。新たな組織というのは、どういうふうなものか。例えばハサンベツを中核にして、考え方を皆さんに伝えていくのであれば、新しく参画される方々に、それなりの覚悟を持ってやってもらわないと今までの努力がどうなっていくのだろうか。今のハサンベツは展示場としてはいいが、資源環境保全の取り組みって、経済も絡むという言い方をしている。あそこで何を生産できるのかということもちょっと考えてみて、今までの農業生産は大変だ、あるいは林業にとって大変だということも考えていく必要があると思っている。

環境生活課長 今まで自然関係の関心のある方を中心に活動してきた部分もあるが、今回の提唱団体には企業の方々も入っている。ポジポなどで経済も少し絡めながら取り組んでいくということも必要だということで、民間の方々と一緒に考えていきたい。

## ■人口増加に向けたプロモーション事業について

町 民 人口が減っていくのは全国的な問題で仕方ないと思うが、定住人口の増加について具体的な案があれば知りたい。これから住宅の造成地が令和 8 年度以降にあるのか。町内も空き地が点在しているように見受けられる。小さな面積ではなかなか売買がうまくいかない。大きな面積であれば大型施設が建てられるので 500 坪以上の土地であれば目につきやすいと思うが考えを聞きたい。

町 長 これまでは、紙の媒体を使って PR をしてきたが、今は若い方を中心にいろいろな SNS を見る、そういう時代になっているので、YouTube だとかいろいろなものを活用して栗山町の魅力をどんどん発信していく。内容は担当も検討している。栗山公園、里山だとか観光資源があるが人を通じて、栗山の魅力をしっかりと発信していきたい。まだまだ隠れたいろいろな観光資源もあるので、掘り起こしも計画している。情報発信でまちの魅力を伝えていくことは有効な手段だと思っております。力を入れていきたい。

宅地の造成については、2 年ほど前に中里で 1 期の造成を行い完売している。そこもかなり人気があって中里地区はあと 2 期、3 期と工事が造成の計画があるが、この 1 期が終わってある程度売却が進んだ段階で、中央団地の跡地を造成して、その後に中里の 2 期、3 期と進めたいと考えている。市街地の中にも空き地、空き家が点在をしてくているという課題もある。空き家は今、栗山町で 250 戸ほど。空き家資源を活用できないかということで、空き家バンクを作って、活用していただける方を探したり、マッチングをしたり、そんな取り組みもしている。人口減少が進んでいく中で、空き地、空き家は重要な課題というふうに位置づけておりしっかりと取り組みたい。

## ■スキー場跡地の活用について

町 民 自分が小学生の時に、スキー場でキャンプしたことがあるが、キャンプ場にできないかと思っている。ただ、栗山公園と民間のキャンプ場があるので客の取り合いになって共倒れする可能性があると思うので、まとめたり個性を出したりしたらうまくいかないだろうか。

企画財政課長 スキー場は令和元年頃だったと思うが、施設の老朽化の関係もあって閉鎖された。その後、土地もかなり広大ということもあり、栗山公園、御大師山周辺の一

体の整備の中で、利活用できないかということで検討を進めてきた。現状としては、活用方針は総合計画後期実施計画の中で方向づけをし、4年間で進めていこうという考え。当然経費の部分も睨みながらというか検討していかなければならない。財政状況も含めた総体的な考え方としては、例えば植林をして維持管理をしていく方法や、町の農林課で実施している苗を育てる事業用地など検討している。改めて地域の方、関係者を含めて意見を伺う機会を作りたい。

## ■アパート入居者の町内会の入会について

町 民 私どもの町内会では、一戸建ての方は皆さんに入会していただけているが、アパート入居者に入会してもらうことが難しい。アパートのオーナーにコンタクトできる場合は入会してもらっているが、オーナーが町外だと管理会社等ともコンタクトが取れない。そういう場合、町が入居されてる方に町内会へ入会してもらえよう資料等を用意して働きかけをしてもらえないか。災害が発生した時でも全然顔合わせないって問題が出てくる。例えばオーナーさんへの働きかけだけでなく、役場に転入などの手続きに来た際、町内会へ入会してくださいというように紹介してもらいたい。

町 長 地縁組織である各単位の町内会の運営、会費の徴収を含め、行政が踏み込んでお願いをしていくことは難しいしできないと考えている。我々行政ができることとしては、町内会の活動に参画したり、町内会の方々といろいろな懇談を持つ機会を持ったりしながら、手を取り合って課題解決を進めること。町外の管理人、アパートの所有者に対しての働きかけというのは、行政としてそこまでやるのは難しい。窓口での紹介については検討したい。

## ■武装攻撃に対するシェルターについて

町 民 政府は、武力攻撃を受けた際に、住民が避難するシェルター、緊急一時避難施設を確保するように全国の市町村に求めている。シェルターは、2025年7月時点で全国に約6万1千カ所あり、道内では札幌市が26年7月時点で293カ所、これ以外の市町村が2025年4月時点で3428カ所があるということだが、栗山町にはあるのか。

総務課  
防災主幹 本町には設定しているシェルターはない。札幌市などは地下を設定している。少し都会に行くと、地下街や地下を店舗にしているところも多く、そういった場所が指定されている。それで、本町にはそういった設備がなく指定が難しい。

町 民 平成25年に松栄団地の建て替えが終わり、平成27年には、ポプラ団地を解体するという話だった。あれからもう10年経ったがいまだに空き家になっている。そこを解体するのであれば、あまり目立たないのでいいと思うが。

建設課長 ポプラ団地は、入居者が1件いたが、退去したため今年度解体する。跡地利用については、整地した後、当面は例えば地域の雪を捨てる場所も含めた中で、これから検討したいと思っている。

町 長 世界情勢が混沌とし、一寸先がどうなるか分からないという状況中で、このシェルターの設置についても検討しなきゃならない事項になるかなというふうに思っている。国内のいろいろな事例だとかも調べながら、また財源の問題も調べながら検討してまいりたい。

## ■原油不足に伴うごみ袋の影響について

町 民 ナフサ不足による影響でゴミ袋が不足している。札幌市では、ゴミ袋の契約額が約1.8倍に値上がりしているようであるが本町は大丈夫なのか。

環境生活課長 本町は道央廃棄物処理組合に加盟しているが、今のところ組合の方からは、値上げやゴミ袋の関係の指示はない。ゴミ袋は確保できており、その辺については問題ない。新たに別のゴミ袋を使うことや、値段を上げるというようなことは考えていない。

## ■道の駅について

町 民 連休で各方面の道の駅を見て回りましたが、どこの道の駅も観光客で賑わっていた。栗山町にも道の駅が欲しいと思っているが、栗山公園に建てるのであれば、道の駅に動物園があるなんていう条件のいいところは全国にもないと思う。是非実現させてもらいたい。

商工観光課長 前回の総合計画の中でも道の駅の構想については上がっている。道の駅に沿う内容的なものは、栗山公園、くりふとがあるが、全道各地を見ると、行政の支援や交付金等がないと人件費含めて運営できないという実情も分かっている。具体的に費用対効果も含めて栗山町はどういうものか検討していきたい。